

漆

漆

【しつぽうびんぼうし】



井川健《波の舟1》2022年 撮影：本山雄一
林曉《朱塗脚付盤》(部分) 2022年
野口健《Swaying Vessel 31》(部分) 2020年 撮影：朝倉拓哉
(写真上から・いずれも作家蔵)

— 現在を
— 駆
— け
— 抜
— ける
— 髹
— 漆
— 表
— 現
— |

漆

風

2023

会期中無休

10/1 SUN → 11/26 SUN

開館時間 / 9:00 ~ 17:00 (入館は閉館の30分前まで)

会場 / 石川県輪島漆芸美術館

入館料 / 一般630円 (520円) 高大学生320円 (210円) 小中学生150円 (100円)

* () 内は20名以上の団体料金 障害者手帳をお持ちの方と付添者1名は無料

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭
いしかわ百万石文化祭2023

主催 / 文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、輪島市、
輪島市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、
いしかわ百万石文化祭2023輪島市実行委員会、
石川県輪島漆芸美術館



文化絢爛 ふんかけんらん

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭
いしかわ百万石文化祭2023

令和5年10月14日(土)~11月26日(日)

Wajima Museum of Urushi Art
石川県輪島漆芸美術館

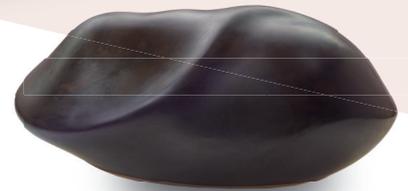
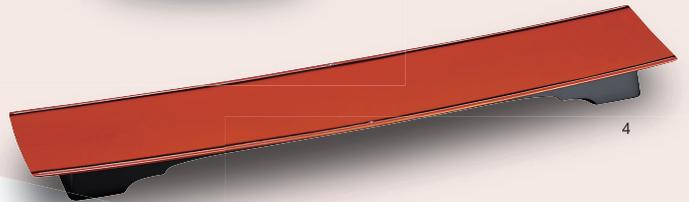
〒928-0063 石川県輪島市水守町四十苅 11 番地
0768-22-9788 www.art.city.wajima.ishikawa.jp

漆風 怒濤



1. 青木千絵《BODY 16-1》2016年（神居蔵）提供：神居 /
 2. 石塚源太《感触の表裏 #29》2023年 撮影：来田猛 協力：アートコートギャラリー /
 3. 築地久弥《乾漆蓋物「ふたひら」》2016年 /
 4. 荒川文彦《髹漆長手四方盛器「希望」》2014年 /
 5. 小塚真弓《Cosmos》2020年 撮影：Atsuo Hashimoto /
 6. 田中信行《Inner side - Outer side 2021 - N》2021年 撮影：山本紘 Yamamoto tadasu
- * 所蔵表記のないものはすべて作家蔵

漆塗り全般をさす「髹漆」は、無地の実用漆器から始まった輪島塗にとつて原点であり、長きにわたって集積されてきた技の誉れです。また一方では、工芸の近代化とともに固有の表現方法として確立され、多様な展開を遂げています。地域を越えてさまざまな歴史や経験が折り重ねられた現在地から、現在注目を集める作品の数々を俯瞰し、漆の本質的な魅力を余すところなく紹介します。



— 現在を駆け抜ける
髹漆表現 —

出品作家

青木 千絵 / 荒川 文彦 / 井川 健 / 石塚 源太
 鶴飼 康平 / 奥井 美奈 / 長内 洋三 / 小塚 真弓
 金保 洋 / 笹井 史恵 / 清水 康志 / 五月女 晴佳
 竹内 幸司 / 竹岡 千穂 / 田中 信行 / 谷川 美音
 築地 久弥 / 伴野 崇 / 野口 健 / 林 暁
 増村 真実子 / 水口 咲 / 村谷 聡志 / 村田 佳彦

関連プログラム

▶ アーティストトーク

林 暁 × 田中信行（いずれも本展出品作家）
 10月14日（土）

▶ プレミアムトーク

檀ふみ × 室瀬和美 × 小森邦衛
 10月21日（土）

* 要予約・最新情報は公式ウェブサイトでご確認ください



Wajima Museum of Urushi Art 石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063石川県輪島市水守町四十町11番地 TEL.0768-22-9788
<https://www.art.city.wajima.ishikawa.jp/>

「のと里山空港」から 車(約20分)
 「金沢駅」から 北鉄バス輪島特急線を利用(約130分)
 「金沢市内」から のと里山海道を利用(約100分)
 「道の駅・輪島ふらっと訪夢 輪島駅前」から
 のらんけバス海コース利用(10分)「漆芸美術館」下車



いしかわ
 百万石
 文化祭
 2023